



持続可能な公共交通のための データ活用と運行モデルの再編成

Via Mobility Japan株式会社
2026年5月



世界の導入件数NO.1 AIオンデマンド交通分野において世界最大のプラットフォーム ドライバー実績から常に学習をするAIモデル - 渋滞や季節に応じた変化に柔軟に対応

高度なAIで継続的に 運行改善



世界800箇所以上で導入実績のあるAI配車アルゴリズム。リアルタイムで最適なルートと相乗り計算を行い、無駄のない効率的な運行を実現します。

需要予測

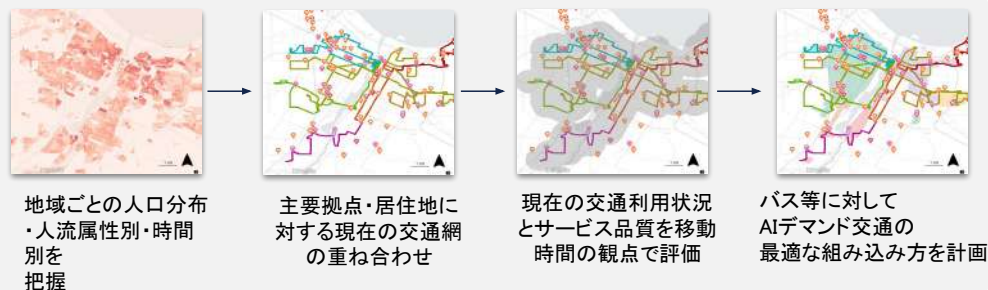
エリア最適化

配車適正化

交通分析+AIテクノロジー

会社名	Via Mobility Japan株式会社
所在地	東京都港区虎ノ門(ニューヨーク本社)
設立	2018年
代表	代表取締役 マイケル・ヴァッカリーノ
資本金	1,500億円(グループ全体) NYC上場済み
売上	700億円(連結・2024年度)

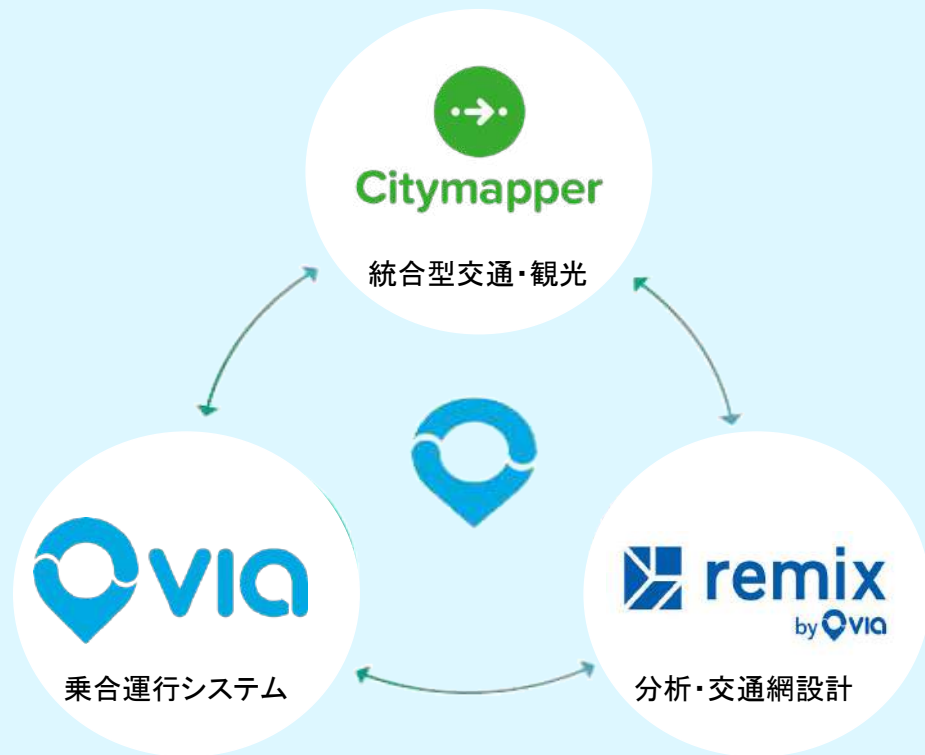
Number of On-Demand Transportation Projects by Tech Provider



日本各地でのサービス展開状況



分析から運行システムまで
一貫通貫して提供



AIオンデマンド交通:長野県内の類似事例 茅野市・原村実績

長野県 茅野市・原村 バス路線維持困難地域の全面AIデマンド交通化

町民・別荘所有者・観光客のニーズや利用を想定



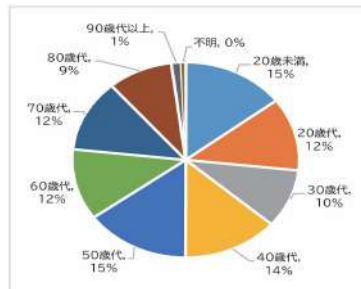
住民アンケート結果

- ・ 市内に8,000箇所のバス停を設置し、交通空白を完全に解消し利便性を向上。
- ・ 茅野市から始まり、周辺地域へ拡大展開。
- ・ バス・タクシー・AIデマンド交通がそれぞれの役割を棲み分け共存する。
- ・ 仮想バス停・固定バス停・ドアツードアを属性によって使い分ける。



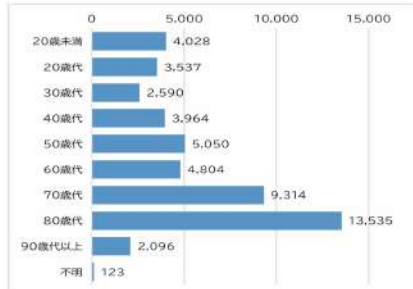
東急リゾート&ステイ

年齢別登録者数



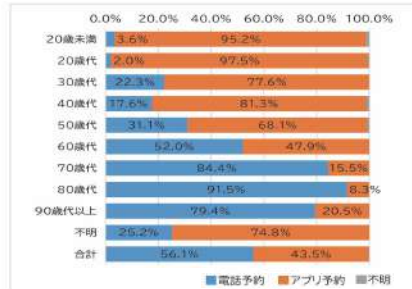
各年代偏りなく登録

年齢別予約件数



70歳代以上 50%を占める

年齢別予約方法(電話とアプリ)



【利用者の声】



家族にお願いする遠慮なく
病院にも、ジムにも行けます



自分の好きなところに、親にお願いしないで行ける、ということがすごく便利だなと思いました



家族の送迎の時間が減って家事ができたり、というところが非常にに助かっています

各地の課題ごとにオーダーメイドで設計する運行モデルと改善施策

バス路線維持困難地域の
全面オンデマンド化



長野県
茅野市・原村

茅野市内中心市街地の13路線の市民バスを8台のAIオンデマンド交通へ切り替えし、交通両者が増加。
後に隣接する原村にもサービス拡大し、両自治体を行き来する共同サービスとして運行中。

一部バス路線の温存
時間帯別オンデマンド



茨城県高萩市
茨城交通

朝晩の通勤・通学時間帯は定時定路線バス、同じバス車両で日中はAIオンデマンドバスとして運行。マイカー(自分で運転、送迎)からの移行により、日中の利用者が最大1.4倍に増加。

アナログ乗合タクシー
へのAIシステム導入



福島県磐梯町

磐梯町では電話受付でアナログ運行していた乗合タクシーをAIシステムによる運行に切り替え。乗客がシステム導入前と比較して1.8倍に増加。お盆期間の夜間運行や子ども無料など地域住民の要望に応えたサービス設計。

交通空白地帯
の自家用有償輸送あ



鳥取県智頭町

バス・タクシー事業者とも完全撤退済みの地域における地域内全面的自家用有償運行。シルバー人材を中心にドライバーとコールセンタースタッフの採用。自宅などを待機場所にシフトに入日を住民同士で分担して運行を支える。

自動運転
をオンデマンド交通に



米国ミネソタ州
グランドラピッド

高齢化の人口割合はミネソタ平均の2倍で週末と夕方以降は1~2日前に電話予約をする交通手段がないという交通困難地域。自動運転車は火~日まで毎日運行し、現在は乗車運賃無料の公共サービスとして運行中。これまでに3,500回乗車。

将来的な広域連携

複数地域広域連携

AIデマンド交通「のらざあ」-エリア拡大(茅野市→原村→東急リゾートタウン蓼科)

拡大の軌跡

2020年12月
茅野市(実証運行)

4台運行

2022年8月22日
茅野市(運行開始)

8台運行

定時路線バス13路線を廃止し、AIデマンド交通へ転換。
行政主導による基盤構築。

2024年2月1日
原村(エリア拡大)

10台運行

隣接自治体との連携。
茅野市のシステムを共同利用し、生活圏全域をカバー。

2024年7月16日
東急リゾートタウン蓼科

11台運行

民間リゾート施設内展開。
観光客・別荘利用者向けの無料運行モデル。

2025年10月
茅野市・原村福祉車両導入

13台運行

共通プラットフォーム

予約・配車・運行管理・データ分析を一律管理



福祉・介護

通院・買い物支援
車椅子対応



子ども送迎

通学・習い事
安全な移動手段



観光・リゾート

別荘地内移動
観光客の回遊性向上

共同配車



共同運行



会津若松の事例:バスとAIオンデマンドサービスを一つのアプリで提供

(プレスリリース)【会津バス】 国内初！AIオンデマンドバスと路線バスの乗継提案をひとつのアプリで完結

※ ポスト

2025年12月11日 14:00:09 PM TIMES

新機能「えらべるナビ」を「MyRideどこでもバス」に実装

会津乗合自動車株式会社（福島県会津若松市、代表取締役社長：佐藤俊材、株式会社みちのりホールディングス（東京都千代田区、代表取締役グループCEO：吉田元）は、2025年12月15日から、「MyRideどこでもバス」（以下、どこでもバス）のアプリに、AIオンデマンドバスと路線バスとの連携ルート検索・乗継提案およびAIオンデマンドバスの予約を一体化した新機能「えらべるナビ」を実装します。

今回の新機能により、利用者はアプリひとつで「どこでもバスのみのルート」「路線バスのみのルート」「どこでもバス+路線バスの乗継ルート」など複数の移動ルートをもとめて比較し、希望に合わせて「えらべるナビ」になります。さらに、どこでもバスは検索後そのまま予約まで完結します。

AIオンデマンドバスと路線バスのルート検索・乗継提案・予約を、同一アプリ内で完結するサービスは国内初（※自社調べ、2025年11月時点）です。

【ルート検索・提案】



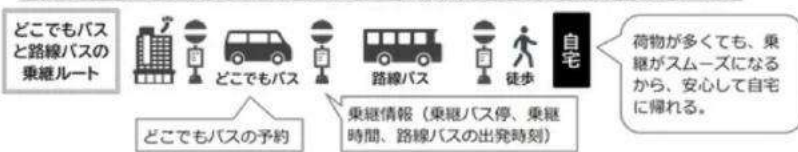
出発地・目的地・希望日時を入力すると、出発地から目的地までのルートを提案。

「どこでもバスのみのルート」「乗継ルート」「路線バスのみのルート」の3種類を提案。

ルートの詳細（バス停、時刻、乗継情報など）を表示。そのまま、どこでもバスの予約も可能。

※開発中の画面であり、実際の画面とは異なる場合があります。

➤ 買物：大型スーパーからの帰り道、アプリで乗継情報を確認でき、乗継がスムーズに



交通分析・設計ツールRemix活用事例



佐賀市

AIオンデマンド交通導入に向けた事前評価



- ✓ 地区別評価による導入エリア選定：運行前に市内全域を地区別に詳細評価し、最初に導入すべき優先地域をデータに基づき絞り込み。
- ✓ 運行シミュレーションの実施：AIオンデマンド交通の実装を想定したシミュレーションを行い、実現可能性を検証。



八代市

学校再編に伴う移動手段確保と赤字路線評価



- ✓ 子どもたちの移動手段確保：部活動の統廃合を背景に、生徒の移動需要を分析し、最適な交通手段を検討。
- ✓ バス赤字路線の評価：持続可能な交通網維持のため、既存の赤字路線のパフォーマンスを客観的に評価。



熊本市

既存交通網の可視化と合意形成



- ✓ 交通網の完全可視化：市内5つのバス会社が運行する全路線データを読み込み、現状のネットワークをデジタル上で再現。
- ✓ 参加型ワークショップの開催：5つのエリアで「ベストミックス」を検討。市職員と交通事業者が参加し、異なる立場の声を計画に反映。



会津地域（広域）

バスとAIオンデマンドのハイブリッドサービスの分析・計画・設計



- ✓ 産官学連携ワークショップ：複数自治体が連携し、学識経験者も交えた実践的な交通見直しワークショップを開催。
- ✓ ハイブリッドアプリの実装分析：路線バスとオンデマンド交通を統合的に利用できるアプリ実装に向けたデータ分析を実施。

自動運転の取り組み

各地で複数の自動運転スタートアップと連携
公共交通と乗り継ぎが可能な自動運転も提供

